広報
SHOBARA the public information magazine

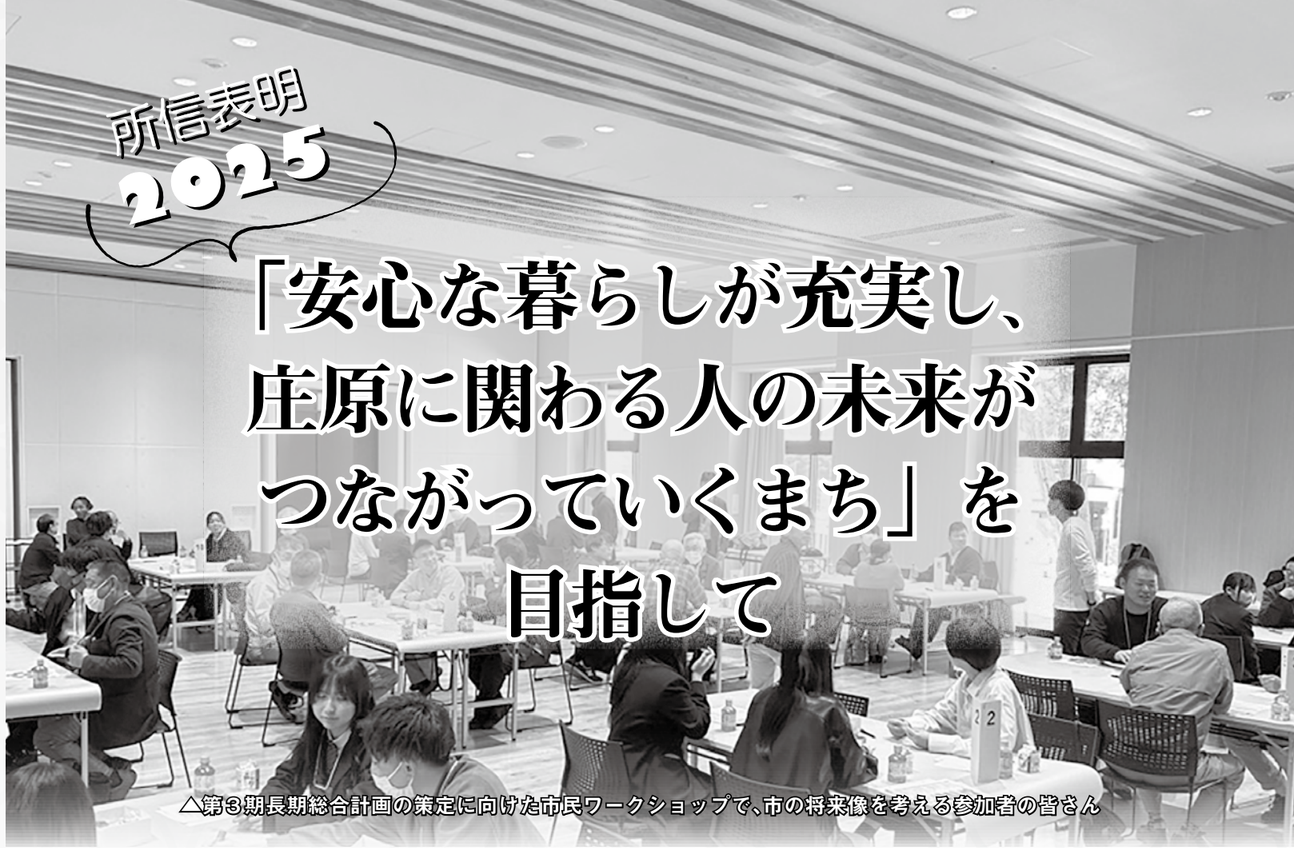
しょうばら

美しく輝く　里山共生都市

7
2025/July
No.244

比婆斎庭（さにわ）神楽の舞、今ここに。

６月１日に「吾妻山山開き」が開催され、登山の安全祈願・奉納神楽が行われました。
初夏の風が吹く吾妻山に、広島県指定無形民俗文化財である「比婆斎庭神楽」の伝承が息づく舞が披露されました。
（関連記事：24 ページ）



所信表明 2025

「安心な暮らしが充実し、庄原に関わる人の未来がつながっていくまち」を目指して

△第３期長期総合計画の策定に向けた市民ワークショップで、市の将来像を考える参加者の皆さん

※この記事では、６月10日に行われた、第４回市議会定例会での、八谷市長による所信表明を紹介しています。

1. はじめに

令和7年第4回市議会定例会の開催にあたり、私の所信の一端を申し述べ、議員ならびに市民の皆さんのご理解とご協力をお願い申し上げる次第でございます。

本市は市制施行から20年の歴史を刻んでまいりました。

その間、多くの先人のご尽力により、地域の発展に向けた基盤が築かれましたが、この間、我が国の社会構造や経済情勢は大きく変容し、本市においても、人口減少と高齢化に伴う影響を受けており、地域の持続可能性を脅かされている現状にあります。

私はこれまでさまざまな機会において、本市の将来を憂い、不安感を抱いている市民の皆さんの切実な声に耳を傾ける中で、地域を覆う閉塞感を打破し、ふるさとを「未来へつなぐ」ことを決意いたしました。

その将来像として私が思い描いた「まち」の姿は、**「安心な暮らしが充実し、庄原に関わる人の未来がつながっていくまち」**でございます。

若い世代や子育て世代も含め、市民が必要とする医療や福祉・介護の制度をはじめ、生活に必要な機能や仕組みが維持され、あらゆる世代が不安なく安心して暮らしを送ることができていること。

また、こうした本市に魅力を感じ、関係人口や新たな事業者の関わりが拡がっていき、地域の経済活動が活性化することで、世代を超えて未来の展望が描けていること、そうしたまちの姿を想像したものです。

この将来像の実現に向け、3つの柱で市政運営を進めたいと考えております。

第1の柱 「安心な暮らしの充実」

結婚や出産を希望する人が安心して子どもを産み育てることができ、若い世代が望むライフスタイルを実現できる施策をブラッシュアップしてまいります。

また、住み慣れた地域で健康で穏やかに日々を過ごすための基盤となる医療体制や福祉施策につきまして、効率的でありながら満足度の高いサービスとなるよう、努めてまいります。

さらには、地域の将来を見据えた住民自治の在り方や、従来の枠組みにとらわれない、持続可能な地域構造の検討と併せて、誰もが必要なときに必要な場所へ移動できる交通手段の確保を、喫緊の課題として対応してまいります。

第2の柱 「将来に希望がつながっていく仕組みづくり」

安心な暮らしが確立され、将来への持続可能性が高まれば、市民の皆さんや本市に関わりを持ちたいと希望する人の展望が開けるものと考えております。

そこで、市内外からの投資を積極的に呼び込み、新たな産業体の誘致・連携などを通じて、魅力ある雇用の場を創出し、成長戦略として「基盤産業」の確立を目指してまいります。

また、これまで地域の活力を生み出す産業であった第一次産業や観光業についても、恵まれた自然環境を生かし、市内外のさまざまな知見を得て高付加価値化を図り「基盤産業」として再生を果たしてまいります。

このことが、関係人口や移住者の呼び込みに連鎖反応を生じさせ、本市が未来につながる持続的なまちに変化をしていくものと考えております。

第3の柱 「市民の期待に応え、将来を担う人的資源の育成」

本市を未来につなげていくためには、故郷を大切に思う心を持ち、グローバル化の進む社会で躍動できる力を備えた人材の育成が不可欠であり、その環境を整える施策が非常に重要であると認識いたしております。

このため、義務教育課程はもとより、地域の子どもたちの教育機会を維持するための市内県立高等学校への支援など、教育の質を高める環境整備に取り組むとともに、人材育成のみならず、本市のまちづくりにとって必要不可欠な高等教育機関である県立広島大学庄原キャンパスとの連携など、幅広い観点から本市の人づくり全体を俯瞰し、施策を講じてまいります。

この「市民の期待に応え、将来を担う人的資源の育成」の取り組みにつきましては、全ての施策に関わる重要な施策であり、着実に推し進めてまいります。

今まで申し上げた施策を推進していく上においても、既存の施策について、必要性や今後の将来性、費用対効果の検証を行い、見直しを行ってまいります。

とりわけ「子どもたちと多世代の集いの場整備」など、将来的な負担を伴う投資事業につきましては、十分に事業効果などを分析し、実施の是非を検討してまいります。

2. 施策推進の方向性

施策全般の推進に当たりましては、これまで申し上げてきた「世代」「市民と行政」「地域と人」「産・学・官」の4つを、各々**「つなぐ」**ことを重要な視点に位置付け、取り組んでまいります。

▼**「世代をつなぐ」**は、子育て世代から高齢者まで、世代を超えて、市民の皆さんが安心して暮らせる「まち」を創ること

▼**「市民と行政をつなぐ」**は、常に市民目線に立ち、徹底した情報共有に努めること

▼**「地域と人をつなぐ」**は、市内外における人的・経済的な交流を促進し、地域の成長を将来につなげていくこと

▼**「産・学・官をつなぐ」**は、様々な分野で産・学・官が同じベクトルのもと、オール庄原市で施策を推進していくこと

市役所の職員一人一人も、この視点を常に意識し一丸となって、まちづくりに当たってまいります。

先ほど述べました、将来の目指す姿を具体的な数値指標で置き換えて表現いたしますと「市内の合計特殊出生率が人口置換水準（人口が長期的に増えも減りもせずに一定となる出生の水準）近辺までに向上し、社会動態の増減が均衡に近い状態」であると捉えております。

これまで、具体的な施策や取り組みが明確でないとのご指摘を受けておりますが、第3期庄原市長期総合計画の策定の中で目指す将来像、幹となる施策体系を検討している段階でございます。

今後、この将来像を実現するための個別具体的な施策につきましては、第3期庄原市長期総合計画の基本構想・基本計画を策定する中で検討し、お示ししてまいります。

3. おわりに

結びになりますが、「まちづくり」は行政の力だけでは到底前に進めることはできません。

市民、事業者、市議会など、幅広い立場の皆さんと徹底した対話を積み重ね、共に手を携えて、第3期長期総合計画の策定を通じて、市民の皆さんが望む将来像の実現に向け、取り組みを進める必要がございます。

議員各位、そして市民の皆さまには、引き続きご理解とご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げ、私の所信表明とさせていただきます。

ありがとうございました。

もくじ

2　八谷恭介市長　所信表明
4　市民のページ
5　躍動する子どもたち
6　庄原市職員募集
7　第３期庄原市長期総合計画を策定中
8　障害に関する相談窓口
9　国保の資格確認書と資格情報のお知らせ
10　二地域居住の取り組み
　／てごーす日誌 in 庄原
11　安心・安全な毎日のために
　／ほのぼのネット通信
12　健康広場
13　市政トピックス
14　カメラレポート
16　お知らせ
24　出張！市政トピックス

がんばれ！スポーツ少年団

●東城中学校バレーボールクラブスポーツ少年団

私たち「東城中学校バレーボールスポーツ少年団」は、現在 10 人（２年生２人、１年生８人）で活動しています。

「大きな声で元気よく」「あいさつと礼儀を大切に」をモットーに、県大会出場を目指して、月・水・木曜日の週３回練習に励んでいます。

佐々木一成コーチをはじめ、経験豊富なコーチたちが、基礎から丁寧に指導し、バレーボールを通じて、技術向上だけでなく、チームワークやコミュニケーション能力、そして人としての成長を育みます。

初心者も経験者も大歓迎です！興味のある人は、ぜひ一度、東城中学校へ見学・体験にお越しください。

なごみま☆ショット

上間（じょうかん）　時和（ときわ）くん（板橋町）
R４年５月18日生まれ
父母より：たくさん笑って元気に大きくなってね！

お子さんの写真を載せてみませんか？

３歳までのお子さんの写真を募集しています。写真（データも可）に、名前（ふりがな）・住所・生年月日・性別・連絡先・お子さんへのメッセージを添えて、行政管理課または各支所総務室まで申し込んでください。郵送、メール（koho@city.shobara.lg.jp）でも受け付けます。メールアドレス

まちづくりを進める市民活動登録団体をご紹介します！

市は市内で活動している市民活動団体の登録制度をつくり広く公開しています。

市民活動の充実、まちづくりの連携や協働を進めるため情報をお届けします。

名古屋つばめ塾　庄原支部

活動内容　**1人でも多くの子どもが望み通りの道を歩めるように**

私たちは、県立広島大学の学生で構成している団体です。経済的困難な家庭に対して学習機会の提供を行う無料塾を運営しています。対象は小学生から高校３年生までで、各生徒に合わせた勉強のサポートを無償で行っています。無料塾の活動対象には「経済的困難な家庭」とありますが、学習意欲のある人であれば誰でも歓迎しています。

県内外から県立広島大学に進学した私たちだからこそ話せる経験や、年齢の近い私たちだからこそ相談してもらえることがあると思います。

勉強をしたいのに勉強する環境がない人、将来に対して不安な人、勉強を頑張りたい人はできる限りサポートしますので、少しでも興味があればお気軽にお問い合わせください。

問い合わせ
メール：s-tsubame@outlook.com
☎ 080-4963-7130
公式LINE　ホームページ

市民活動団体登録をしませんか？
市は随時、登録を希望する市民活動団体を募集しています。
詳しくは、自治定住課自治定住係（☎ 0824-73-1209）まで。

シリーズ
躍動する子どもたち！

「読書活動編」

このコーナーでは、隔月で市立学校の取り組みや児童生徒の活動の様子を紹介します。

教育指導課指導係☎ 0824-73-1184

読み語りを行う図書委員（高小学校）

移動図書館（東城小学校）

本を選ぶ児童（口和小学校）

高小学校

高小学校では毎月23日を「子供読書の日」として定め、その日を中心に読書を推進するためのさまざまな取り組みを進めています。今回は、図書委員会の活動を２つ紹介します。

１つ目は給食時間の「図書放送」です。１年生から６年生のみんなが楽しめる内容を選び、声だけで様子が伝わるように読み方を工夫しています。図書委員の児童が、時間を掛けて練習を重ねた放送は、聞く人を物語の世界へいざないます。

２つ目は「読み語り」です。対象学年に応じた内容の本を選び、読み方だけでなく、ページのめくり方などの見せ方も工夫し、相手に伝えることを意識して読んでいます。

これらの活動を柱に、児童がたくさんの本と出合い、読書の楽しさを知る環境を整えることで、さらなる取り組みへとつなげていきます。

東城小学校

東城小学校の朝は、読書で始まります。本の世界に没頭する児童、読み語りによって笑い声が聞こえる教室などさまざまです。

子供司書や図書委員会、山の子会による昔話の大型紙芝居など、読み語りの種類も多彩です。

図書委員会の活動もアイデア満載で、本の貸し出し冊数が増える「２倍デー」や、給食準備中に図書委員が選んだおすすめの本をコンテナで運ぶ「移動図書館」は、「通りかかった人も本を借りられるからうれしい」と好評です。

その他にも、毎月最終金曜日の家庭学習は読書のみの「月末読書」や、毎月23日は「東城小子供読書の日」などの特徴的な取り組みを継続し、今後も読書活動の充実を図っていきます。

口和小学校

口和小学校は、毎日の読書活動はもちろん「子供司書養成講座」への参加や、地域の「絵本の会」の読み聞かせなど、さまざまな場面で読書との関わりを持っています。

本年度は、もっと子どもたちに読書を身近に感じて欲しいと考え、保護者や地域の人たちと一緒に読書活動に取り組んでいます。例えば、保護者が選んだ本を子どもたちが家に持ち帰って一緒に読むことで、学校での読書の取り組みが家庭へ広がっています。また、令和６年度には、地域の人からの寄付で新たな本を購入したことで、図書室は新刊を心待ちにした児童であふれました。

今後も、児童が読書を通じて新たな発見をすることで「もっと本を読みたい！」と思えるよう、保護者・地域と共に取り組みを進めていきます。

「未来の庄原を語ろう」

― 第３期長期総合計画の策定に向けて ―

企画課企画調整係　☎0824-73-1128

現在市では、令和８年度から始まる「第３期庄原市長期総合計画」の策定を進めています。この計画は、これからの10年間における庄原市のまちづくりの基本的な方向性を示すもので、市民の皆さんと将来像を共有し、共に描いていくための重要な指針です。策定に向けては、世代や立場を問わず市民の声を反映するため、幅広い世代を対象としたアンケートに加えて、全３回の「ワークショップ」を開催しました。

このワークショップには、高校生からシニア世代までの市民、事業者、学生、市職員など、多様な立場の人に参加いただき、まちの未来を語り合いました。

開催日程	実施概要
[第1回] 3月22日(土)	テーマ 将来のまちの姿を考えよう！ 今あるまちの魅力・まちの課題・10年後に庄原市が目指すべき姿
[第2回] 4月27日(日)	テーマ 理想の庄原市を実現するための取組を考えよう！ 庄原市の理想のまちの姿・その将来像を実現する取組を検討
[第3回] 6月7日(土)	テーマ 協働のまちづくりに向けた取組を考えよう！ 地域でできることや市民と行政が協働で実施するプロジェクトを検討・整理

▲詳しくはコチラから

1 第1回ワークショップ

第１回では、「将来のまちの姿を考えよう！」をテーマに、庄原市の魅力や課題、そして10年後にどのようなまちになって欲しいかについて意見を出し合いました。「若い人が帰って来られるまちに」「医療や買い物が困らないまちに」といった、日々の暮らしの中で感じている課題や希望について、活発な意見が交わされました。

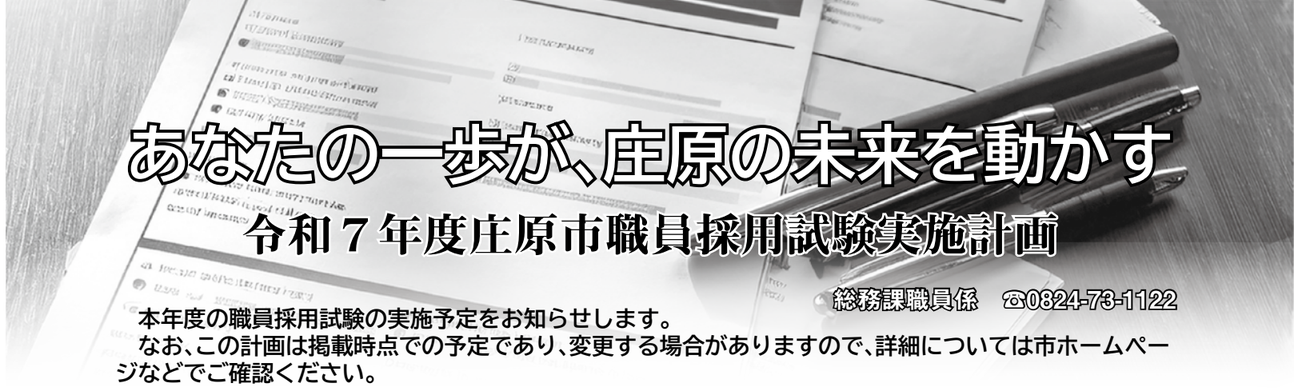
2 第2回ワークショップ

続く第２回では、前回の議論を踏まえ、「理想の庄原市を実現するための取組を考えよう！」をテーマに、前回出された将来像を実現するための具体的な取り組みについて話し合いました。「交通・インフラ」、「にぎわい・娯楽」や「仕事・産業」をテーマに、参加者が自ら選んだグループで意見交換を行い「空き家改修による若者の居場所づくり」や「後継者確保のための全国募集と支援制度」といった、多様な視点からの具体的な提案がありました。

3 第3回ワークショップ

そして６月に行われた第３回では「協働のまちづくりに向けた取組を考えよう！」をテーマにこれまでのワークショップで出た意見を基に、より具体的なプロジェクトの検討方法について議論しました。市民が主体となってまちを良くしていくという意識の高まりが見られ「自分たちで未来をつくる」という機運が広がる、有意義な時間となりました。

ワークショップでの議論において、参加した皆さんから提出された貴重な意見などは、第３期庄原市長期総合計画やさまざまなまちづくりの施策に盛り込めるよう努めていきます。



あなたの一歩が、庄原の未来を動かす

令和７年度庄原市職員採用試験実施計画

総務課職員係　☎0824-73-1122

本年度の職員採用試験の実施予定をお知らせします。

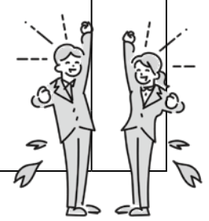
なお、この計画は掲載時点での予定であり、変更する場合がありますので、詳細については市ホームページなどでご確認ください。

【前期募集】

職種	応募対象年齢 ※令和8年4月1日時点	年間採用予定人数（前期・後期）	申込受付期間	第１次試験日（試験会場）	試験内容 第１次試験	試験内容 第２次試験	合格発表
一般事務職A	19～30歳	20人程度	７月18日(金)まで	【とき】 ８月３日(日) 【ところ】 庄原市役所	・教養試験 ・性格特性検査 ・作文 ・専門試験※ ※技術職(土木)のみ	・個別面接試験 （８月中旬予定）	8月下旬
一般事務職B ※10月1日採用							
一般事務職C ※障害のある人	19～35歳						
技術職(土木)	19～30歳	３人程度					
技術職(建築)	～35歳	２人程度					
社会福祉士（事務職）		１人程度					
保健師		２人程度					
保育士	～30歳	２人程度					
調理員	19～40歳	１人程度					

【後期募集】　後期試験から、採用に新しい区分が加わります！

区分	応募対象年齢 ※令和8年4月1日時点	職種	申込受付期間	第１次試験日（試験会場）	試験内容 第１次試験	試験内容 第２次試験	合格発表
ユース枠	18～21歳	○一般事務職 ○一般事務職（障害のある人） ○技術職（土木） ○技術職（建築） ○社会福祉士（事務職） ○保健師 ○保育士 ○調理員 ○埋蔵文化財（事務職） ※以下の職種はユース枠の応募対象外です。 ・技術職（建築） ・社会福祉士 ・保健師 ・調理員 ・埋蔵文化財	８月１日～10月３日	●庄原会場 【とき】 10月中旬 【ところ】 庄原市ふれあいセンター ●広島会場 【とき】 10月下旬 【ところ】 県立広島大学広島キャンパス	・教養試験 ・性格特性検査 ・作文 ・専門試験※ ※技術職(土木)のみ	・個別面接試験 （11月中旬予定）	11月下旬
フレッシャーズ枠	22～30歳						
公務員経験者枠	31～45歳				・SPI試験 （基礎能力・性格）		
社会人経験者枠（U・Iターン対応）	31～40歳						
社会人経験者枠（デジタル人材）	31～50歳	○デジタル人材（事務職）					



お知らせ

職員採用試験の前期募集を行っています。
申込用紙・試験案内などの詳細はこちらからご確認ください。

障害に関する相談窓口を紹介します

市は、障害のある人やその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、生活福祉に関するさまざまな相談に応じています。

身体障害・知的障害・精神障害についての福祉制度や、困っていること、生活上の悩みなど、社会福祉課または各支所地域振興室へご相談ください。また、市内の相談支援事業所や障害者相談員も相談を受けることができます。

社会福祉課障害者福祉係
☎0824-73-1210

■障害者相談支援事業所

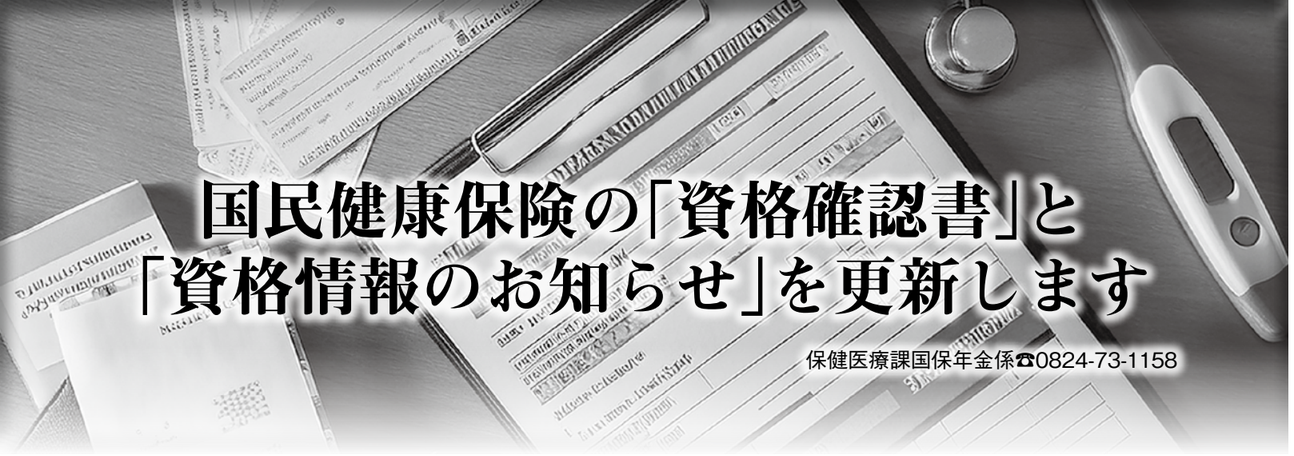
障害者相談支援事業所は、障害のある人やその家族・介助者など、地域での生活や福祉に関する全般的な相談に応じています。また、障害福祉サービスの情報提供やサービスを利用するための手続き、関係機関との連絡調整などの支援を行っています。市内の相談支援事業所の一覧は次のとおりです。

事業所名	住所・電話番号	主な担当地区（自治振興区別）	
相談支援事業所えーる	庄原市三日市町5017番地6 ☎0824-72-7310	障害児・者	東
		障害児	東城（東城）
相扶の郷相談支援事業所	庄原市尾引町263番地2 ☎0824-74-0611	障害児・者	山内
		障害児	東城（帝釈）
ありす相談支援事業所	庄原市東城町川西1332番地5 ☎08477-2-3121	障害者	東城（川東以外）
相談支援事業者ゆうき相談所	庄原市宮内町6393番地 ☎0824-72-1233	障害児・者	庄原
		障害児	東城（久代・新坂・田森）
相談支援事業所ひまり	庄原市高町1246番地 ☎0824-72-4584	障害児・者	高・西城
		障害児	東城（小奴可）
相談支援事業所くれよん	庄原市比和町比和792番地 ☎0824-85-2300	障害児・者	北・口和・高野・比和
		障害児	東城（八幡）
恵夢（えむ）相談支援事業所	庄原市東城町川東152番地4 ☎08477-2-5252	障害者	本村・峰田・東城（川東）
相談支援事業所ぽこ・あ・ぽこ	庄原市西本町四丁目540番地 ☎090-7596-8295	障害児・者	敷信・総領

■身体障害者相談員・知的障害者相談員

市が委嘱する「身体障害者相談員」「知的障害者相談員」は、身体障害や知的障害のある人のさまざまな相談に応じています。また、市・関係機関と連携し、相談会も行っていますので、お気軽にご相談ください。
（直近の相談会の日程は16ページに掲載）

担当地区	身体障害者相談員	知的障害者相談員	問い合わせ
庄原	大江（おおえ）　武芳（たけよし） 馬場（ばば）　和行（かずゆき） 伊藤（いとう）　耕平（こうへい）	三河内（みつごうち）　偉津夫（いつお） 酒井（さかい）　主典（もとのり）	社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210
西城	藤原（ふじわら）　和惠（かずえ）	平井（ひらい）　正澄（まさずみ）	西城支所地域振興室 ☎0824-82-2202
東城	水永（みずなが）　芳香（よしか） 小田（おだ）　龍雄（たつお）	磯川（いそかわ）　由美子（ゆみこ）	東城支所地域振興室 ☎08477-2-5131
口和	宮﨑（みやざき）　憲二（けんじ）	竹岡（たけおか）　伸榮（のぶえ）	口和支所地域振興室 ☎0824-87-2112
高野	藤元（ふじもと）　恵里子（えりこ）	落谷（おちたに）　悦三（えつみ）	高野支所地域振興室 ☎0824-86-2115
比和	森近（もりちか）　秋義（あきよし）	實延（さねのぶ）　宏章（ひろあき）	比和支所地域振興室 ☎0824-85-3001
総領	森川（もりかわ）　修次（しゅうじ）	宗兼（むねかね）　安子（やすこ）	総領支所地域振興室 ☎0824-88-3063



国民健康保険の「資格確認書」と「資格情報のお知らせ」を更新します

保健医療課国保年金係☎0824-73-1158

現在お使いの国民健康保険の「保険証」「資格確認書」「資格情報のお知らせ」は、７月31日（木）で有効期限が切れます。※「資格情報のお知らせ」は70歳以上の人のみ有効期限があります。

８月１日（金）以降に医療機関などを受診する際は、「マイナ保険証（保険証の利用登録をしたマイナンバーカード）」または「資格確認書」が必要となります。

８月１日（金）から有効となる新しい「資格確認書」「資格情報のお知らせ」を、７月下旬に発送します。

「マイナ保険証」の保有状況に応じて、送付する書類が異なりますのでご注意ください。同じ世帯の中で「マイナ保険証」をお持ちの人とお持ちでない人が混在する場合、「資格確認書」と「資格情報のお知らせ」を別々で送付します。

なお、新しい「資格確認書」「資格情報のお知らせ」が届いた人で、他の健康保険に加入している人は、国民健康保険の資格喪失手続きが必要です。保健医療課または各支所地域振興室で手続きをしてください。

●「資格確認書」について

「マイナ保険証」の利用登録をしていない人、マイナンバーカードを持っていない人、マイナンバーカードの電子証明書が失効した人などに交付します。

これまでの保険証と同じカードサイズで、「資格確認書」のみで医療機関などを受診できます。

世帯主宛てに**まとめて**送付します。人数の多い世帯（５人以上）は、封筒が複数になりますのでご注意ください。

※画像はイメージです

●「資格情報のお知らせ」について

「マイナ保険証」の利用登録をしている人に交付します。

「資格情報のお知らせ」はＡ４用紙サイズで、「マイナ保険証」に対応していない医療機関などを受診する場合に、マイナンバーカードと併せて提示することで受診できます。（「資格情報のお知らせ」のみで受診することはできません。）

世帯主宛てに、被保険者ごとに**１人１通**送付します。

なお、**70歳以上の人**は「負担割合」「有効期限」を記載し、**毎年更新**します。

70歳未満の人は「有効期限」の記載はありませんので、**毎年の更新はありません**。

本年度に限り全員に送付しますので、大切に保管してください。

今後は、記載内容に変更があった場合のみ交付します。

※画像はイメージです

※「マイナ保険証」での受診が困難な人は、市へ申請することで「資格確認書」が交付されます。また、「マイナ保険証」の利用登録解除を市へ申請することで「資格確認書」が交付されます。

「二地域居住」の取り組み、始まります

企画課企画調整係☎0824-73-1128

近年、異なる地域に生活拠点を持ち、行き来しながら生活する「二地域居住」という新しい生活様式が注目されています。

二地域居住とは、主な生活拠点とは別に、地方などにもう1つの住まいを持ち、仕事や生活を行う暮らし方です。

テレワークの普及や価値観の多様化により、都市の利便性と地方の自然やゆとりのある暮らしの両立を求める人が増加傾向にあります。

本市では、市と連携して、二地域居住の生活を支援する法人を募集するため、新たに「特定居住支援法人」の指定制度を設け、5月19日から指定申請受付を開始しました。

特定居住支援法人とは？

二地域居住を希望する人に向け、住まいや仕事、地域との交流などの支援をするために、市が指定する法人です。

広島みどり信用金庫が特定居住支援法人に！

広島みどり信用金庫からの支援法人の申請を受け、5月27日、同金庫を特定居住支援法人として指定しました。

今後、市は特定居住支援法人と共に、空き家活用や地元企業との連携、定住支援などを推進し、地域力の維持・向上に向けたさまざまな取り組みを行う予定です。

指定書を受け取る小林明宗（こばやしあきむね）理事長（右）

不定期連載中　てごーす日誌 in 庄原　水稲被害を食い止めよう

林業振興課林業振興係☎0824-73-1124

皆さんこんにちは！
テゴスのフィールドアドバイザー、佐々木です。
今回は市内でも被害の多いイノシシの水稲被害とその対策について紹介します。

7・8月は対策の見直しを

7月に入り、稲穂が乳熟期（にゅうじゅくき）を迎えると、水稲被害が増加します。被害が出る前に対策を強化してイノシシ被害を防ぎましょう。

草刈りで対策効果アップ

イノシシはとても臆病な性格のため、体が丸見えになる開けた場所や、環境の変化を嫌います。田んぼ周辺の草刈りをすると、イノシシが近づきにくくなります。山際から草刈り機を1振り、できれば2振り分の幅で刈りましょう。

今のうちに柵の点検を

被害の少ないこの時期に柵の点検をおすすめします。外周を回り、突破されている箇所や、草で覆われている箇所がないか確認しましょう。

ワイヤーメッシュ柵では、地面との隙間がないようにしましょう。地際（じぎわ）が弱い箇所はハウスパイプや竹などを這わせて補強してください。グラグラしている場合は、しっかり固定しましょう。

電気柵は、柵が高すぎると、下をくぐって侵入されます。斜面や凸凹した場所は、支柱を追加して一定の高さを保つことが大切です（イノシシの場合、地面から20センチ間隔で2段）。

電圧を確認することもお忘れなく。最低でも4千ボルト以上であれば、効果があります。

安心安全な毎日のために　庄原警察署からのお知らせ

庄原警察署☎0824-72-0110

夏の交通安全運動

令和7年広島県夏の交通安全運動が実施されます。

子どもから高齢者まで、みんなで交通ルールを守って、交通事故ゼロを目指しましょう。

運動期間
7月11日㈮～20日㈰

本運動における重点項目
- 歩行者の安全な通行の確保
- 高齢者の交通事故防止
- 飲酒運転をはじめとする危険運転の根絶
- 自転車等の安全利用の推進

スローガン
「てをあげて くるまにおしらせ ぼくはここ」

Eラーニングで交通ルールを学びませんか

広島県警察では、Google（グーグル）フォームを活用して、交通ルールや交通安全に必要な知識を学習できる「Eラーニング交通安全教育教材」を作成しました。

この教材は、スマートフォンやタブレット端末を持っている人であれば、誰でも簡単に利用することができますので、ぜひ、皆さん取り組んでみてください。

ドライバーとしての基本的交通ルール
【ドライバー向け教材】

歩行者の交通事故防止
【高齢者向け教材】

自転車の交通ルール
【中・高生向け教材】

ほのぼのネット通信　子どもの成長を一緒に確認しましょう！

ほのぼのネット☎0824-73-1214

乳幼児健診

子どもが健康で順調に成長しているかを確認し、発達に関わる病気などをいち早く見つけ、対応するためのとても重要な健診です。

市が実施している乳幼児健診には、6～8ヵ月児健診、1歳6ヵ月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診があります。これらは、子どもの発達段階で特に確認が必要な年齢を設定しています。

小児科医師、歯科医師、歯科衛生士、助産師、栄養士、保健師など多職種が関わり、発達の確認や病気の早期発見のほか、子育て中の不安や困りごとなど、育児に関するさまざまな相談にも応じています。

健診は無料で受けられます。成長の節目に健診を受けていただき、子どもの成長を一緒に確認していきましょう。

電子母子手帳アプリ「庄原ほのぼのネットアプリ」

健診で使用する問診表を電子母子手帳アプリ「庄原ほのぼのネットアプリ」から事前に入力できます。

ダウンロードはこちら

育児相談

健診のほかに、育児相談や個別相談も実施しています。

発達に応じて必要な関わりを持つことは、子どもが成長していく上で大きな財産になります。何か心配なことがある場合には、お気軽にご連絡ください。

※乳幼児健診・育児相談に関することや、アプリの操作が難しい場合は、お問い合わせください。

問い合わせ
保健医療課母子保健係
☎0824-73-1214

詳しくは…
庄原市　乳幼児健診
で検索！

地域推進課

新たな一歩を踏み出すきっかけに

県大生を対象とした庄原ファンクラブ交流会

5月23日、庄原グランドホテルで、県立広島大学庄原キャンパスの学生を対象に「庄原スタートダッシュ交流会」を開催し、新入生を含む35人の学生が参加しました。

これは、県内外から初めて本市を訪れる学生に、本市の自然・歴史・文化・食など、多様な魅力を楽しみながら知ってもらうために企画しました。

当日は、本市に関するクイズや、市内で取れたコシヒカリすくいなどで盛り上がり、新入生は、上級生と同じ席を囲み、和やかな雰囲気の中、大学生活などについて情報交換を行い、交流を深めました。

参加した学生からは「同級生や上級生と交流できて良かった」「庄原の魅力を知るきっかけになり、これからも良いところを見つけていきたい」などの声が寄せられました。

交流を楽しんだ後、全員で記念撮影

サークルでの取り組みを発表する学生

教育指導課

伝える力、英語で試す舞台

第20回中学生による英語スピーチ大会

6月8日、市ふれあいセンターで「第20回中学生による英語スピーチ大会」を、庄原ロータリークラブ、しょうばら国際交流協会、教育委員会の3者合同で開催しました。

当日は、多くの観客が見守る中、市内の中学生11人が、自分の思いや考え、気持ちなどを英語で発表しました。

総領中の早川怜沙さんは「The importance of having fun」（楽しむことの大切さ）というタイトルで「ある動画をきっかけに、ピアノを楽しみながら弾けるようになり、合唱コンクールのピアノ伴奏も経験して、自身の成長につながった。これからも楽しむことの大切さを忘れずに、いろいろなことに挑戦していきたい」と英語でスピーチしました。

観客の前でスピーチする早川さん

第20回中学生による英語スピーチ大会受賞者

（順不同・敬称略）

庄原ロータリークラブ会長賞
谷本　徳権（東城中2年）

しょうばら国際交流協会長賞
平田　七海（総領中2年）

庄原市教育委員会教育長賞
早川　怜沙（総領中3年）

生涯学習課

専門指導による競技力向上支援

レベルアップスポーツ教室　陸上教室

6月10・17日、上野総合公園陸上競技場で「令和7年度レベルアップスポーツ教室」を開催し、小学4～6年生の計87人が参加しました。

陸上競技の専門的指導者を講師に、スポーツの基本である「走る」「跳ぶ」技術の習得と向上を目指し、基礎的なトレーニングや速く走るこつなどを学びました。

参加者は「いつもより速く走ることができてうれしかった」「大会で良い記録が出せるように、毎日の練習を頑張っていきたい」と話しました。

講師からアドバイスを受ける参加者

参加者全員で集合写真

庄原血管いきいきプロジェクト

高血圧について

血管とは？

血管は、体全体にくまなく酸素や栄養素を運び、不要な老廃物などを体の外へ運び出すために、常に働き続けています。

体中に走る血管は、太さも形も機能もさまざまです。一番太い血管は、直径約3センチの大動脈（だいどうみゃく）で、外膜（がいまく）、中膜（ちゅうまく）、内膜（ないまく）の3層で構成されています。心臓から送り出された血液は大動脈から枝分かれしながら直径0.5ミリ前後の細動脈（さいどうみゃく）、さらに細い毛細血管を通って体の隅々まで運ばれます。

血管の異常が病気を招く

そのような働きをしている血管が、詰まったり破れたりしてしまうと、酸素や栄養素が細胞に十分に届かなくなってしまいます。特に心臓や脳で起こると、脳卒中や心臓病など命にかかわる深刻な病気を招く恐れがあります。

庄原市高血圧予防キャラクター
ショーショー鳥

血圧は、血液が血管の内壁を押す力。**高血圧**は、何らかの原因で血液の量が多くなったり、流れにくくなって血管の内壁にかかる圧力が高くなっている状態。**血管に負担がかかっている**んだよ！
そのままにしておくと・・・
血管に強い負担がかかって、硬くなり厚くなり（**動脈硬化**）、深刻な病気（**脳卒中・心臓病・腎不全など**）**を招く**ことになるんだよ。

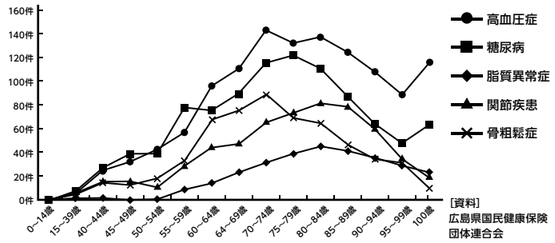
庄原市糖尿病予防キャラクター
腹ハッチー

糖尿病は、血液中にブドウ糖があふれる病気。ほとんど症状はないけど、体の中ではブドウ糖が**確実に血管や神経を傷つけている**んだよ！
そのままにしておくと・・・
し（神経症状）
め（目の障害）
じ（腎臓障害）
になる危険性が大きいんだ。

本市の取り組み

本市の国民健康保険医療費を占める割合では、糖尿病、高血圧が上位となっています。また、特定健康診査の結果では、血圧、血糖、血中脂質の所見を併せ持つ人の割合が高いことから、糖尿病、高血圧を予防するための取り組みを重点的に推進しています。

［図：千人当たりレセプト件数（令和4（2022）年度・外来）］



［資料］
広島県国民健康保険団体連合会

一人一人に取り組んでもらいたい行動

イキイキした血管を保つことは、健康維持の秘訣です。
一人一人が意識し、取り組みましょう！

- 規則正しい生活習慣を心がける
- 生活習慣病や健康について、家族みんなで考える
- 普段から家庭で血圧と体重を測定する
- 減塩に興味をもち、減塩を心掛ける
- 栄養成分表示を見る
- 特定保健指導や予防教室に参加する

ポスター

チラシ

ポロシャツ

令和6年度には「庄原血管いきいきプロジェクト」として、ポスターやチラシを希望があった各事業所へ配布しました。また、市内で行われるイベントで血圧測定や体組成測定を行うなど、さまざまな機会で糖尿病、高血圧を予防するための啓発を行っています。

保健医療課健康推進係　☎0824-73-1255

感謝を込めておもてなし

道の駅たかの 12 周年感謝祭・6/7～8　No.2

道の駅たかので、開業から12 周年を記念した感謝祭が開催され、２日間で約１万人が訪れました。

会場では、感謝祭限定グルメとして、雪室りんごを使ったアップルパイや高野町産いちごのジェラート、比婆牛弁当などの販売のほか、新商品「りんごワイン」もお披露目され、多くの人が買い求めました。

また、県内や高知県の道の駅グルメの出店や、まき割り・焚き火体験、抽選会などでにぎわいました。

来場者は「庄原の野菜やりんごなどをよく買いに来るが、新商品の発表もあり、今後も訪れるのが楽しみ」と話しました。

▲特産品を買い求める来場者

駅から広がるにぎわい

第 26 回庄原駅前フェスタ・5/18　No.1

備後庄原駅前で、庄原駅周辺地区まちづくり協議会主催の「第26 回庄原駅前フェスタ」が開催されました。

会場では、芸備線・木次線沿線市町のPR ブースや鉄道グッズなどの販売が行われ、地元グループによるステージや広島出身のファンタジー系シンガーソングライターDressing（ドレッシング）ちゃんのスペシャルステージが、多くの来場者をにぎわせました。

また、公共交通を身近に感じてもらうため、備後庄原から備後西城間をバスと列車で往復する乗車体験も開催され、利用者は「車とは違い、景色を十分に楽しむことができた」と話しました。

次回の庄原駅前フェスタは７月19日に開催予定です。

▲駅前で盛り上がるDressing ちゃんのステージ

「ふるさとの光」庄原の魅力

「ふるさとの光」発見プロジェクト in 広島・6/9　No.4

広島市のホテルグランヴィア広島で「ふるさとの光」発見プロジェクトの記者発表および交流会が開催され、関係者約70 人が参加しました。

これは、西日本地区の６新聞社が連携し、各社の発行地域の中から対象エリアを選び、とっておきの地域資源を「ふるさとの光」として紙面などで発信する取り組みです。

記者発表では、本市の各地域で活躍されている人や、県大生の計７人が、それぞれの抱く本市の魅力を熱く語りました。

その後の交流会には、八谷市長と木村副市長も参加し、関係者間で本市の魅力について意見を交わしたほか、西城紫水高校神楽部の部員により「大黒舞」が披露され、会場からは大きな歓声と拍手が上がりました。

▲西城紫水高校 神楽部の「大黒舞」

交通死亡事故ゼロ4000日達成

交通安全テント村・6/5　No.3

ＪＡひろしま口和ライスセンター東側で、口和町交通安全対策協議会の主催による「口和地域交通死亡事故ゼロ4000 日達成記念交通安全テント村」が開催され協議会の会員を始めとする40 人が参加しました。

当日は、口和小児童会長の五島凛太郎（こしまりんたろう）さんと副会長の佐々木考志（ささきこうし）さんの交通安全宣言と、道行くドライバーへの交通安全啓発グッズの配布により、交通安全啓発活動を行いました。

当対策協議会の橋川豊（はしかわゆたか）副会長は「死亡事故ゼロ4000 日というのは大変な記録。約 11 年間、地域住民の地道な活動の積み重ねにより達成されたもので、これからも継続して取り組んでいきたい」と話しました。

▲交通安全啓発グッズをドライバーに手渡す参加者

お手柄！ジュニアポリス

感謝状贈呈式・5/27　No.6

庄原警察署で、行方不明になっていた高齢女性を発見したとして、永末小６年生でジュニアポリスの井上澪菜（いのうえれな）さんに感謝状が贈呈されました。

澪菜さんは、４月27 日の夕方、友人宅からの帰りに行方不明になった女性がいると聞き、母の久美子（くみこ）さんと捜索を始め、国道沿いで座り込んでいた女性を発見しました。

贈呈式では、相原正裕（あいはらまさひろ）署長から感謝状とお菓子の詰め合わせが贈られ、受け取った澪菜さんは「暗くなる前に見つけられて良かった。今後も困っている人を見つけたら、まずは状況把握をして、適切な行動につなげていきたい」と笑顔で語りました。

▲感謝状を受け取った澪菜さん（右）と母の久美子さん（左）

サロン仲間と小旅行

ぽかぽかサロン・6/6　No.5

総領自治振興区のぽかぽかサロンで、日帰り旅行が開催され、サロン利用者の３人が参加しました。

ぽかぽかサロンは、振興区のデイホーム事業として、普段は集まってお茶を飲みながら交流する場を提供するものですが、今回は日帰り旅行が行われました。

主な行き先は、世羅高原花の森のローズ＆フラワーガーデンと広島空港で、参加者は園内を散策したり、花を眺めながら談笑したりと、にぎやかな時間を過ごしていました。

参加者は「普段はなかなか遠出をしないので、サロンのみんなで旅行ができてよかった」「とてもきれいなバラを見ることができた」と話しました。

▲園内で談笑するサロン参加者

田植えの技術を学ぶ

小学生田植え体験・6/9　No.8

比和町の田んぼで、「田植え体験」が行われ、比和小の全児童26 人が参加しました。

これは、地元農業法人「宝郷（ほうきょう）」の協力により、子どもたちに田植えを体験してもらう取り組みで、最初に苗の植え方についてお手本を見せてもらいました。

その後、子どもたちは実際に田んぼに入り、泥に足を取られながらも田植えに挑戦しました。

また、手で苗を植えただけではなく、安全に十分配慮しながら田植え機に乗せてもらい、機械を用いた田植えも体験しました。

参加した子どもたちは「稲を３本ずつ取って植えるのが難しかった」「秋にお米を収穫するのが楽しみ」と話しました。

▲田植えに真剣に取り組む子どもたち

この地域でず～っと暮らしたい

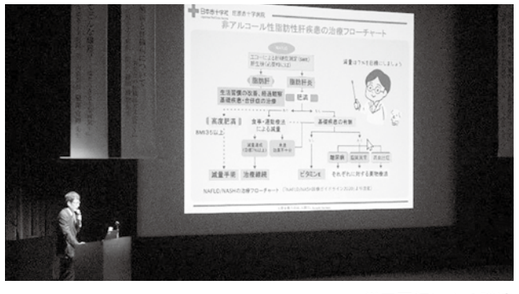
市民公開講座・5/17　No.7

庄原市民会館で庄原市の地域医療を考える会が主催する市民公開講座が開催され、280 人が参加しました。

講座では、「肝臓と膵臓の病気」をテーマに、庄原赤十字病院院長の鎌田耕治（かまだこうじ）医師が肝臓の病気について、同病院第一内科部長の服部宜裕（はっとりよしひろ）医師が膵臓の病気について解説しました。

その後、特別講演として広島市立広島市民病院病院長の松川啓義（まつかわけいぎ）医師が近年のがん治療について、最新のロボット手術など実際の手術の様子を交えて解説し、また治療に関する病院間での連携についても紹介しました。

参加者は「この地域に住んでいても最新の治療が受けられることに安心」「病院間の連携は心強い」「ロボット手術の進化に驚いた」と話しました。



▲鎌田医師による講演

あなたの相談をお受けします

悩みごと、心配ごと、
困りごとなど、
お気軽にご相談を

各種相談		とき	ところ	備考	問い合わせ
人権相談	庄原	8月19日㈫13時30分～15時30分	庄原市ふれあいセンター	人権擁護委員	広島法務局三次支局 ☎0824-62-5070
	西城	8月7日㈭13時30分～15時30分	西城支所		
	高野	8月12日㈫13時～15時	高野支所		
	比和	8月5日㈫13時30分～15時30分	比和自治振興センター		
	総領	8月13日㈬9時～11時	総領保健福祉センター		
行政相談	庄原	8月21日㈭13時～15時	庄原市ふれあいセンター	行政相談委員	市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1154
	西城	8月21日㈭13時30分～15時30分	西城自治振興センター		西城支所市民生活係 ☎0824-82-2124
	東城	8月21日㈭13時30分～15時30分	東城支所		東城支所市民生活係 ☎08477-2-5121
	口和	7月25日㈮9時30分～11時30分	口和保健福祉センター		口和支所市民生活係 ☎0824-87-2112
	高野	8月12日㈫13時～15時	高野支所		高野支所市民生活係 ☎0824-86-2115
	比和	8月5日㈫13時30分～15時30分	比和自治振興センター		比和支所市民生活係 ☎0824-85-3001
	総領	8月13日㈬9時～11時	総領保健福祉センター		総領支所市民生活係 ☎0824-88-3063
法律相談	西城	8月8日㈮13時～16時	西城自治振興センター	広島弁護士会による無料相談。要予約。	広島弁護士会 ☎0120-969-214
	総領	7月25日㈮13時～16時	総領保健福祉センター		
生活安全相談		毎週月～金（祝日・年末年始除く） 9時～12時、13時～16時	市民生活課市民生活係	生活安全相談員	市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1244
			東城支所市民生活係		東城支所市民生活係 ☎08477-2-5121
消費生活相談		毎週月～金（祝日・年末年始除く） 9時～12時、13時～16時	市民生活課市民生活係内 庄原市消費生活センター	消費生活相談員	庄原市消費生活センター ☎0824-73-1228 市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1154
家庭児童相談		毎週月～金（祝日・年末年始除く） 9時～16時	児童福祉課あんしん支援係	家庭児童相談員	家庭児童相談専用 ☎0824-73-1243
妊娠・出産子育ての相談		毎週月～金（祝日・年末年始除く） 8時30分～17時15分	ほのぼのネット （市役所本庁舎2階）	助産師・保健師 保育士・社会福祉士	ほのぼのネット ☎0824-73-1214
認知症カフェ	庄原	「これから」 8月12日㈫13時～15時	庄原ショッピングセンタージョイフル2階	相談・情報交換 参加費なし	高齢者福祉課 地域包括支援センター係 ☎0824-73-1165
	西城	「コスモスカフェ」 8月7日㈭13時30分～15時	西城保健福祉センター （しあわせ館）	相談・情報交換 参加費100円	西城支所保健福祉係 ☎ 0824-82-2202
	東城	「おれんじカフェ・ええ塩梅（あんばい）」 7月22日㈫13時30分～14時30分	東城支所		東城支所保健福祉係 ☎08477-2-5131
	高野	「ほっとカフェ」 8月15日㈮10時～12時	下高自治振興センター	相談・情報交換 参加費なし	高野支所市民生活係 ☎0824-86-2115
	比和	「あしたのカフェ」 8月19日㈫13時30分～15時	比和温泉施設あけぼの荘	相談・情報交換 参加費100円	比和支所市民生活係 ☎0824-85-3001
障害者相談員定期相談会	庄原	8月18日㈪13時30分～15時30分	庄原市ふれあいセンター	身体障害者相談員	社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210
	口和	7月22日㈫9時30分～11時30分	口和保健福祉センター	身体・知的障害者相談員	口和支所市民生活係 ☎0824-87-2112
		7月23日㈬9時30分～11時30分	口和自治振興センター		
療育手帳巡回判定会	庄原	8月14日㈭10時～16時	市役所本庁舎1階相談室	1カ月前までに要予約	社会福祉法人 広島県福祉事業団 ☎082-400-9010
	東城	7月24日㈭10時～16時	東城支所		
身体障害者補装具判定会	聴覚	8月19日㈫13時～13時45分	広島県三次庁舎第3庁舎2階 三次市十日市東4-6-1	1週間前までに要予約	社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210
心の健康相談		8月19日㈫13時～14時30分	広島県北部保健所 三次市十日市東4-6-1	精神科医師による無料相談。事前予約が必要。	広島県北部保健所保健課 ☎0824-63-5185

※掲載の内容は、天候などの影響により中止・延期・変更となる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

母子保健事業

●保健医療課母子保健係　☎0824-73-1214

事業名	とき	ところ	持ってくるもの	備考
母子健康手帳交付	8月4日㈪・18日㈪9時～17時	保健医療課母子保健係	▪出産予定日と受診した病院名が分かるもの ▪マイナンバーカード ▪印鑑、口座番号が分かるもの	事前予約が必要
	8月2日㈯10時～12時	庄原ひだまり広場（こども未来広場内）		事前予約が必要(先着2組)
	7月28日㈪9時～12時	東城支所		事前予約が必要
育児相談	8月5日㈫10時～11時40分	庄原ひだまり広場（こども未来広場内）	母子健康手帳	事前予約が必要。支所での相談を希望する場合はお問い合わせください。

催し

第60回庄原市少年少女水泳記録会

市内13校の小学5・6年生が参加し、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライ、自由形、100m・200mリレー、メドレーリレーで、自己最高記録に挑戦します。

本年で60回目となる歴史ある大会です。多くの子どもたちの参加をお待ちしています。また、一生懸命に競技する選手への声援をお願いします。

とき　7月25日㈮　9時から
ところ　西城温水プール水夢
問い合わせ
教育指導課指導係
☎0824-73-1184

募集

まちづくり感謝状候補者

市は、市内でまちづくり活動を実践し継続している人に敬意を表して「まちづくり感謝状」を贈呈しており、候補者の推薦を次のとおり受け付けます。

対象者
令和7年4月1日時点で、おおむね5年以上継続し活動されている個人・団体・事業者など。

なお、同一の内容で既に他の表彰などを受けている場合は対象となりません。

対象とする活動
市民が幸せに安心して暮らせるまちをつくるための活動および事業（例：清掃や交通安全などのボランティア活動）で、定例行事や住民自治組織などの業務によらず自発的に行われているもの。

応募方法
8月29日㈮までに、所定の推薦書を直接持ち込むか、郵送してください。推薦書・実施要綱は、自治定住課または各支所地域振興室総務係にあります。また、ホームページからもダウンロードできます。

候補者は他薦による公募とし、推薦人が個人の場合、2人以上の賛同者が必要です。

【推薦人および賛同者の要件】
▪候補者の親族でないこと。
▪候補者と同一の団体（住民自治組織を除く）に属していないこと。

問い合わせ
自治定住課自治定住係
☎0824-73-1209

放送大学10月入学生

放送大学は、本年度第2学期（10月入学）の学生を募集します。

10代から90歳代までの幅広い世代、約8万4千人の学生が、大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、さまざまな目的で学んでいます。

授業にはBS放送視聴、インターネット視聴、講師からの直接授業の3つのスタイルがあります。心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など、約300の幅広い授業科目があり、1科目から学ぶことができます。1科目の授業料は6千円（入学金は別）。半年ごとに学ぶだけの授業料を支払うシステムで、半年だけ在学することも可能です。

また、全国に学習センターやサテライトスペースがあり、面接授業の開講やサークル活動などの学生交流も行われています。

資料を無料で提供しています。お気軽にご連絡ください。

出願期間　9月11日㈭まで
問い合わせ
放送大学広島学習センター
☎082-247-4030

広告

保育士（中途/新卒）募集中

当社は庄原市100%出資の会社です。あなたの「ちから」が庄原市には必要です。
詳しい求人内容は当社webサイトからご覧いただけます。→

お問い合わせ先
まごころと信頼の提供
庄原市総合サービス株式会社
〒727-0012　庄原市中本町二丁目13-24　Tel (0824)75-0600　http://shobara.co.jp

令和７年度　自衛官など採用案内

～平和を、仕事にする。陸海空自衛官募集～

募集項目		応募資格	受付期間	試験日程
自衛官候補生	男子 女子	18歳以上33歳未満 ※32歳の人は、採用予定月の末日現在、33歳に達していないこと	年間を通じて受け付け	受付時にお知らせします
第2回 一般曹候補生　※1			9月2日㈫ まで	1次：9月16日㈫～19日㈮　※2 2次：10月19日㈰～23日㈭　※2
航空学生		海上：18歳以上23歳未満 航空：18歳以上24歳未満 ※いずれも高卒または高専3年次修了（いずれも見込み含む）	8月29日㈮ まで	1次：9月20日㈯・27日㈯ 2次：10月16日㈭～23日㈭　※2 3次 海上：11月21日㈮～12月17日㈬　※2 航空：11月15日㈯～12月18日㈭　※3
防衛大学校 学生	一般	18歳以上21歳未満 （自衛官は23歳未満） ※高卒または高専3年次修了（いずれも見込み含む）	10月16日㈭ まで	1次：11月1日㈯ 2次：11月29日㈯～12月3日㈬　※2
防衛医科大学校 医学科学生		18歳以上21歳未満 ※高卒または高専3年次修了（いずれも見込み含む）	10月8日㈬ まで	1次：10月25日㈯ 2次：12月17日㈬～19日㈮　※2
防衛医科大学校 看護学科学生			10月3日㈮ まで	1次：10月18日㈯ 2次：12月6日㈯～7日㈰　※2
第2回 医科・歯科幹部　※1		医師・歯科医師の免許取得者	7月29日㈫～ 10月23日㈭	11月14日㈮

※1　採用計画数確保の見込みがある場合は実施しません。
※2　いずれか1日を指定。
※3　期間の内6日を指定。

詳しくは自衛隊広島地方協力本部ホームページをご覧になるか、三次地域事務所にお問い合わせください。

自衛隊広島
地方協力本部
ホームページ

問い合わせ　自衛隊広島地方協力本部三次地域事務所　☎0824-62-0350

日商簿記3級試験対策講座

就職のために必要な資格を取得するひとり親家庭の人を対象とした、日商簿記3級試験対策講座を実施します。

※事前説明会への参加が必要です。応募多数の場合は事前説明会後に抽選となります。

事前説明会
7月27日㈰　11時～11時30分
（インターネット配信）

対策講座
8月10日㈰～11月9日㈰の日曜日（全12回）
9時30分～12時

対象者
ひとり親家庭の母または父、ひとり親家庭の18歳以上20歳未満の子、寡婦、離婚前の困難を抱える母または父（離婚調停中など）

受講方法
インターネット講座

定員　8人

申込期限　7月25日㈮

申込方法
次のホームページから申し込んでください。

問い合わせ
広島県ひとり親家庭サポートセンター
☎082-227-2377

応急手当普及員講習

止血法や心肺蘇生法、AEDの使い方などの応急手当の基礎知識を普及する者を育成する講習を開催します。

対象者
本市または三次市に在住・勤務し、自主防衛組織・教育機関・消防団に所属する人

とき
8月9日㈯～11日㈪（3日間）
※日によって時間が異なるため、詳しくはホームページをご覧ください。

ところ
備北地区消防組合消防本部（三次消防署）

受付期間
講習の2週間前まで

申し込み・問い合わせ
備北地区消防組合消防本部警防課
☎0824-63-9575

備北地区消防組合消防吏員

令和7年度備北地区消防組合の職員を募集します。

※採用年齢を30歳未満まで引き上げました。

募集人員　6人程度

受験資格
平成8年4月2日～平成20年4月1日に生まれた人

試験日・試験場所
▼第1次試験
とき　9月21日㈰
ところ
備北地区消防組合消防本部大会議室

試験内容
▼第1次試験
教養・消防適性検査、作文、体力測定
▼第2次試験　個人面接

申込受付期間
8月1日㈮～22日㈮

その他
募集要項は、各消防署で配布しています。
また、ホームページからダウンロードできます。
※消防の仕事に興味がある人を対象に「就職説明会」を開催します。詳細はホームページをご覧ください。

申し込み・問い合わせ
備北地区消防組合消防本部総務課
☎0824-63-9573

その他

高齢者の在宅介護を支援します

重度の介護が必要な高齢者を在宅で介護している人に、慰労金を支給します。

①介護慰労金支給事業

支給対象者
市内に住所があり、次の要件全てに該当する高齢者と同居し、在宅で介護している人

【高齢者の要件】
▼市内に住所があり、在宅で生活している
▼要介護4または5の認定を受けている

支給額
高齢者1人につき月額5千円

※1カ月のうち、入院・入所などの期間を除いた在宅日数が20日以上のとき、1カ月として算定します。

※支給は基準日前6カ月を基礎とします。

基準日
▼8月1日
（2月1日～7月31日）
▼2月1日
（8月1日～1月31日）

申請の時期
各基準日の20日後まで

②特別介護慰労金支給事業

支給対象者
市内に住所があり、申請書の提出年度の市民税が非課税の世帯であって、次の要件全てに該当する高齢者と同居し、在宅で介護している人

【高齢者の要件】
▼①の介護慰労金の要件に該当している
▼原則1年間、介護保険サービスを利用していない

支給額
在宅高齢者1人につき、年額10万円

申請の時期
介護サービスを利用しなかった期間が1年間に達した日から起算して1年以内に申請

申請に必要なもの
①②とも、申請書に介護支援専門員の証明が必要です。

問い合わせ
高齢者福祉課介護保険係
☎0824-73-1167

市税・保険料の納期限のお知らせ

■固定資産税２期
■国民健康保険税（普徴）１期
■介護保険料（普徴）２期
■後期高齢者医療保険料（普徴）１期

納期限 7月31日㈭

「口座振替」にしている人は、納期限の前日までに残高確認をお願いします。

収納課収納係☎0824-73-1511

「海の事件・事故は118番」海で安全に楽しむために

マリンレジャーを安全に楽しむために、次のことに気を付けましょう。

遊泳
- 同行者から目を離さない
- ライフジャケットの着用
- 遊泳区域以外では泳がない
- 体調不良時や飲酒後は海に入らない

釣り
- 家族や友人に行き先と帰宅時間を伝えておく
- ライフジャケットの着用
- 携帯電話やスマートフォンを防水パックに入れて持って行き、連絡手段を常に確保する
- 立入禁止区域や消波ブロックには立ち入らない

小型船舶
- 出航前に「機関の点検」「残燃料の確認」「船体の確認」を行う
- 常時適切な見張りを行う
- ライフジャケットの着用
- 携帯電話やスマートフォンを防水パックに入れて持って行き、連絡手段を常に確保する

天候や海が少しでも荒れていたら、無理をせずに取りやめましょう。

※詳しくは、ウォーターセーフティーガイドをご覧ください。

問い合わせ
第六管区海上保安本部
尾道海上保安部交通課
☎0848-22-2109
第八管区海上保安本部
浜田海上保安部交通課
☎0855-27-0772

心ない落書きなどで傷ついている人がいます

建造物やインターネット上に、個人または団体の名誉・信用を傷つけたり、プライバシーを侵害する悪質な落書きや書き込みがされることがあります。これらは偏見や差別意識を助長、拡大させる恐れがある人権侵害行為であり、決して許されるものではありません。また、落書きそのものが器物損壊罪などの犯罪に問われることもあります。

自分の行動が社会や相手に対して与える影響を改めて考え、一人一人が人権の尊さを理解し、差別のない明るい社会にしていきましょう。

問い合わせ
市民生活課市民生活係
☎0824-73-1154

令和7年度庄原市二十歳を祝う会

令和7年度庄原市二十歳を祝う会を次のとおり行います。

とき
8月15日㈮
10時から(受付9時30分から)

ところ
庄原市民会館

対象者
平成17年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた人で、市内在住または市内出身(市外在住)の人

申し込み
対象者には7月中旬頃から順次案内状を送付します。
ただし、次に該当する人には案内状が送付できませんので、生涯学習課または各支所教育室へ事前にお申し込みください。

【案内状を送付できない人】
- 現在、本市に居住しているが、本市に住民登録をしていない人
- 本市の出身で、本市以外に住民登録をしている人
- 7月1日以降に、本市に転入(住民登録)した人

問い合わせ
生涯学習課生涯学習係
☎0824-73-1188
または各支所教育室
メール送信先
syogaigakusyu@city.shobara.lg.jp

同日開催
二十歳を祝う会終了後、庄原ファンクラブコラボイベント(同窓会)を開催します。
詳しくは、こちらのホームページをご覧ください。

あっぱれ!庄原

全国レベルの大会出場者、全国・県レベルの大会、市が共催する各種大会などの上位入賞者を掲載します。(敬称略)
※学年は大会開催当時で紹介

全国大会

風間杯第68回全国高等学校選抜レスリング大会
(3月27日～29日／新潟県新潟市)
男子65キロ級
山本(やまもと) 千尋(ちひろ)
(三次高2年・西城町)

県大会

第72回中国高等学校柔道大会島根県予選
(4月20日／島根県松江市)
男子73キロ級 第3位
野崎(のざき) 康輔(こうすけ)
(開星高3年・高町)

広告
スエムネグループ創業62周年の安心と信頼。販売店だからできる高額買取!!
私がお伺いします

担当 末宗 良規
不要になったものなんでも
出張買取いたします!

お金になるか確認だけでもしてもらいたい。
金や宝石をどこよりも高く買取ってもらいたい。
心の絆、安心の証 遺品整理士
物と心をすっきり身軽に、思い出整理をお手伝い 生前整理アドバイザー
高額買取・何でも不用品回収 美幸-ビコウ- 〒729-6205 広島県三次市畑敷町2123-5
☎0120-66-1035

国営備北丘陵公園だより

備北夏まつり

7月19日㈯～8月31日㈰開催!
※期間中休園日なし

備北公園管理センター ☎0824-72-7000
(https://www.bihokupark.jp/)

夏の花暦

▼タイタンビカス
【開花時期】
7月下旬～9月下旬
【ところ】
第2駐車場付近

▼ヒマワリ
【開花時期】8月中旬
【ところ】
みのりの里 ピクニック広場

ヒマワリ切り花体験

ヒマワリを切り花にして持ち帰ることができます。

とき
8月10日㈰・11日(月・祝)
13時～15時
※開花状況により開催日を変更する場合があります。

ところ
みのりの里 ピクニック広場

定員
200人／日(1人5本まで)

新スポット登場!

カブトムシドームに新スポットができました。

クワガタコーナー

クワガタハウスをより観察しやすくリニューアル!園内で採取した個体に加え、地域の愛好家から提供いただいたオオクワガタに触れて観察できます。

トリックアート

飛び出す巨大なカブトムシのトリックアートで、迫力満点のユニークな写真を撮影できます。

とき 8月17日㈰まで
9時30分～18時
(入場は17時まで)

ところ いこいの森 カブトムシドーム

料金
カブトムシドーム入場料
300円／人(未就学児無料)
※トリックアートは無料

カブトムシの育て方講座

カブトムシの育て方や生態について学べる講座です。

とき
7月20日㈰・21日(月・祝)
27日㈰
①11時 ②14時

ところ いこいの森 休憩所

料金 2千円／組(観覧無料)
※カブトムシの飼育セット付き(カブトムシ1ペア、虫かご1個など)

定員 25組／回

SUP体験

SUPに乗り、インストラクターと一緒に国兼池を回る体験イベントです。

とき
8月9日㈯～17日㈰
①10時 ②11時 ③12時
④14時 ⑤15時 ⑥16時
※8月10日㈰はビッグSUPのみ、⑦17時と⑧18時を開催

ところ 国兼池
※受け付けは北入口サイクリングセンター前

料金
SUP 3千円／枚(1～2人乗り)
ビッグSUP 1万千円／枚(最大5人乗り)

定員 SUP5枚またはビッグSUP1枚／回

※記載の内容は6月現在のものです。天候などの理由により変更または中止となる場合があります。事前に、ホームページでご確認ください。

広告

相続・空き家問題・成年後見等でお困りの方、あなたの世代で解決しませんか?
業務のご案内
●不動産の名義変更 ●成年後見
●相続登記・遺言 ●会社の登記
●借金の整理 ●簡易裁判所訴訟代理等
●詳しくはホームページに記載しています。
庄原 司法書士 検索
司法書士 飯田 一生(広島司法書士会所属)
司法書士法人 広島北部司法事務所
(簡易裁判所訴訟代理認定番号524014号)(司法書士登録番号828号)
平成29年4月1日より庄原市役所前に事務所移転しました。
住所 〒727-0012 広島県庄原市中本町一丁目8番16号 TEL0824-72-2315(要予約)

広告 住まいの事なら何でもご相談下さい。
ナガオカ 長岡商事株式会社
災害時に一番早く復旧するプロパンガス。
『安心と笑顔が増えるお手伝いをする。』
ガス供給と共に、より良い生活環境の場をご提案致します。

0120-184-268
広島県庄原市是松町5020番地40 TEL0824-72-0561

人の動き（庄原市の人口）

令和7年5月末現在

[住民基本台帳登載人口]
人口　３０，７２７人（前年比－８７７人）
男　　１４，７２９人（前年比－４０５人）
女　　１５，９９８人（前年比－４７２人）
世帯数　１４，６７５世帯（前年比－２７９世帯）
[うち外国人] 人口　５７６人（前年比１５人）
[各地域の内訳]
○庄原地域　１６，３４８人（７，７８４世帯）
○西城地域　　２，８０４人（１，２９２世帯）
○東城地域　　６，３９２人（３，２０１世帯）
○口和地域　　１，６５４人　（７４１世帯）
○高野地域　　１，４０８人　（６１５世帯）
○比和地域　　１，０６６人　（５１６世帯）
○総領地域　　１，０５５人　（５２６世帯）

休日診療のご案内

７月・８月の休日診療については、次のとおりです。
●庄原市休日診療センター
　診療日：日曜・祝日・年末年始（12/30 ～ 1/3）
　問診療日　　☎0824-72-9900
　　診療日以外　☎0824-73-1155（保健医療課）
●東城地域

７月20日（日）	東城病院	☎08477-2-2150
21日（月）	庄原市休日診療センター	☎0824-72-9900
27日（日）	庄原市休日診療センター	☎0824-72-9900
８月３日（日）	三上クリニック	☎08477-2-1151
10日（日）	庄原市休日診療センター	☎0824-72-9900
11日（月）	庄原市休日診療センター	☎0824-72-9900
13日（水）	次のいずれかにご連絡ください。	
14日（木）	庄原赤十字病院（☎0824-72-3111）	
15日（金）	西城市民病院　（☎0824-82-2611）	
17日（日）	瀬尾病院	☎08477-2-0023

献血のご案内

問保健医療課 ☎ 0824-73-1155

献血を次のとおり実施します。
400ml 献血限定ですので、皆さんのご協力をお願いします。

実施日	会　場	受付時間
８月19日㈫	庄原赤十字病院	11時30分～15時30分

広報日記

▶今月撮影した写真で印象に残ったのは、総領町のホタルです。真っ暗な中、１人で撮影するのは心細かったですが、幻想的な風景に圧倒されました。（表紙にはならず…）来年はヒメボタルの撮影をしてみたいので、良い場所があれば教えてください！ ㊨
▶広報紙を編集している広報統計係では、統計調査に関する業務も行っています。現在、10 月１日を調査期日とした国勢調査に関する調査員の依頼を行っていますので、もし依頼を受けられましたら、ぜひご協力をよろしくお願いします。㊥

食育コーナー

問教育総務課 ☎ 0824-73-1186

学校給食をFacebookに掲載中！

給食から食文化を知る

子どもたちにとって、学校給食は日常生活の一部であり、学校生活の中でも大変重要な時間です。
学校給食では、栄養バランスの取れた豊かな食事を提供することはもちろん、生産者など関係者の皆さんから届けられる新鮮でおいしい地元食材を活かした「行事食」や「郷土食」を献立に取り入れており、給食を通じて子どもたちが地域の農業や食文化を知るきっかけにもなっています。

市公式 Facebook ページ「庄原ええね！」で給食情報を発信中

日々の献立や食材の選定などに対する栄養士の思いのほか、給食調理に対する調理員の思い、調理風景、子どもたちの給食時間の様子などを市公式 Facebook ページで発信しています。
これは本市の学校給食について、多くの人に知ってもらうことで、学校給食への興味・理解を深めることを目的に実施しており、月に２回程度投稿しています。
皆さんに学校給食に興味を持ってもらい、多くの『いいね！』をいただけるよう、本市の学校給食の魅力をたくさんお届けします。本年度も、続々と投稿していきますので、ぜひご覧ください！

市公式Facebookページ
庄原ええね！

▲献立例：まめまめドライカレー、かみかみ和え、小魚くん、牛乳
Facebook ６月６日記事より（高野：６月４日分の給食）

しょうばら九日市

毎月９日は、しょうばら九日市　８月

★出店者募集中！あなたのお店を開こう。
★毎月20日が出店申込締め切りです。
★申し込みは楽笑座
とき　８月９日（土）９時～13時
ところ　中本町・まちなか広場周辺（のぼりが目印）
詳しくはＨＰで　http://kunchi-ichi.jp/information.html

田園文化センター ☎ 0824-72-1159

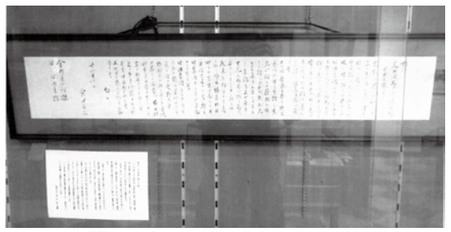
（歴史民俗資料館・倉田百三文学館）
開館：10 時～ 17 時、休館：月曜（祝日開館・翌日休館）・年末年始

倉田百三と三峡塾（創設者金井英一郎氏への書簡）

倉田百三は、明治 37 年（1904 年）から明治 43 年（1910 年）まで、旧制三次中学校（現三次高等学校）に在籍していました。（途中１年間休学し、尾道で生活）
在学中は、叔母静子の嫁ぎ先で妹の重子が養女となった「宗藤家」に下宿しており、卒業後、東京第一高等学校（現東京大学）へ入学するために上京しますが、その時に在席したのが「三峡塾」でした。
「三峡塾」は、当時、三次中の卒業生が上京した後、三中東京同窓会として定例会を行うなど活動していましたが、その中の有志により明治 41 年（1908 年）に設立されました。
塾綱領（方針）では、「教育勅語の趣旨を奉体し学を修め、同時に堅忍持久の精神を涵養せんとするもの」と示され、あくまでも自主的に運営し、上京した三中卒業生を支援する目的で毎週雄弁会（議論を通じて、社会問題などについて深く理解し発言力を養うことを目的とする会）を開催するなどの活動を行っていたようです。この「三峡塾」創設者の一人が「金井英一郎」氏です。英一郎氏は三次の出身で、前述の宗藤家の近所に実家があり、当時より百三とは交流があったようで、百三の「三峡塾」入塾にも関わっていたと思われます。

金井英一郎氏への書簡

令和５年 11 月、英一郎氏の孫にあたる「金井宏一郎氏（広島市在住）」から、百三から英一郎氏へ宛てた書簡（手紙）が倉田百三文学館に寄贈されました。
書簡は、百三が東京で執筆活動をしていた頃のもので、庄原に帰省した際、三次の金井家を訪れ、もてなしを受けた際のお礼の内容となっており、塾生として交流のあった友人のことなども書かれています。
また、手紙では、「ご内室様」として英一郎氏の妻「金井時子」氏のことにも触れています。時子氏も当時執筆活動をしており、百三は、友人の作家武者小路実篤氏や三峡塾創立メンバーの一人である吉中永建氏を通じて知っており、気に掛けていたようです。
百三は、大正 11 年 10 月に発刊された『新家庭』の中で、時子氏が執筆した『涙の底から』について評論を掲載しています。このように、当時の書簡や発行物が発見されたことで、百三の交友関係が確認されるなどとても貴重な資料であると言えます。
この書簡は、文学館内に展示してありますので、ぜひご覧にお越しください。


▲百三から金井英一郎氏へ宛てた書簡

市民ギャラリー「アート多愛夢」情報BOX（西本町二丁目１番 21 号）

市街地の空き店舗を活用した、各種展示ができる市民ギャラリーです。
▶手描き友禅作品展
とき　８月８日㈮～10日㈰　10時～15時
問アート多愛夢事務局　☎ 0824-72-6405（友永）
※展示を希望する団体(または個人)はお申し込みください。使用料は要りません。

食彩館しょうばら ゆめさくら ☎ 0824-75-4411

７・８月のイベント情報

▶ゆめさくら講座
○草木染め教室（生藍）
　とき　７月28日㈪　①９時～12時 ②13時～16時
▶展示・イベント
○シルバー人材センター（てしごとの会）
　とき　７月19日㈯・20日㈰　９時～15時
○駄菓子と鳥取海の物産展
　とき　８月１日㈮～31日㈰
○ゆめさくら夏まつり
　とき　８月11日㈪～15日㈮

ロビーコンサート

問生涯学習課 ☎ 0824-73-1189

高野 とき　７月 28 日㈪ 14 時から
高野 ところ　上高自治振興センター
庄原 とき　７月 28 日㈪ 18 時から
庄原 ところ　庄原自治振興センター　多目的ホール
出演者
広島ジュニアマリンバアンサンブル
演奏曲目
ひとりぼっちの羊飼い、コーヒールンバ、アンパンマンのマーチ　ほか
▶広島ジュニアマリンバアンサンブル
マリンバは木琴の一種で、アフリカが起源。「子どもたちだけで自由に音楽を作り上げてほしい」という思いから、日本マリンバ協会広島支部長の浅田三恵子が主宰し、平成３年に結成。広島市内の幼稚園児から高校生までが所属し、各地で活動している。
平成 14 年に「ヒロシマ国際平和文化活動推進団体」としての認定を受け、各国で演奏を通じた国際親善に努めている。さらに平成 15 年には「広島市民賞」を、続けて「国際貢献賞」、「広島ユネスコ活動奨励賞」、「国際交流奨励賞」など数多くの賞を受賞している。
世界中の平和を願って、元気いっぱいの演奏を続けており、当日は小学生から高校生までのメンバーが集まり、一人一人が体中で音楽を感じ、全身を使って生き生きと個性豊かに演奏する。

広報しょうばら 7月号 2025/July No.244

地域推進課

ようこそ3,000人目の庄原ファン＆“LINK”アンバサダー就任

庄原ファンクラブ会員 3,000 人達成記念イベント

5月28日、広島市内で「庄原ファンクラブ会員3千人達成記念イベント」を開催しました。

記念すべき3千人目の会員は本市出身でタレント・モデルとして活躍中の末井櫻子さんで、会員証と記念品を贈呈しました。

併せて、末井さんにはインスタグラムなどで庄原ファンクラブやイベントの情報発信を行ってもらうため「庄原ファンクラブ〝LINK〟アンバサダー」に就任いただきました。

末井さんは「自身の出身地でもある庄原のことをもっと好きになりたい。ファンの皆さんと一緒に、庄原の魅力を発見し、発信していきたい」と話しました。

イベントでは、3千人達成を記念して、庄原ファンクラブ会員3046人（5月19日時点）の中から20人に本市の特産品をプレゼントする抽選会を実施し、末井さんに抽選してもらいました。

※当選者の番号などは、ホームページをご覧ください。

庄原ファンクラブでは、今後も本市の魅力を発信しながら、会員の皆さんに楽しんでもらえるような企画を実施していきます。

▲抽選会の様子（インスタグラム）

▲ホームページ

会員番号の書かれた紙を抽選

“ＬＩＮＫ”アンバサダー就任

比和支所

夏山登山シーズンの幕開け

2025　吾妻山山開き

6月1日、旧吾妻山ロッジ前で「吾妻山山開き」を開催しました。

当日は、初夏の風が吹き渡る吾妻山に、地元の人や登山客などが集い、山の恵みと安全を祈る「安全祈願祭」と広島県無形民俗文化財に指定されている奉納神楽「比婆斎庭神楽」が厳かに行われました。

また、同時開催として、比和自然科学博物館による「初夏の草花ウォッチング」も開催され、参加者は初夏の吾妻山を彩る草花を観察しながら自然を楽しみました。

その他に米すくいや山野ごはん（山菜おこわ）プレゼント、お米やヤマメの産品販売も行われました。

イベントを主催した比和ゆめ街道ネットワークの若林隆志代表は「美しい吾妻山の景観を愛していただき、多くの人に登ってほしい」とあいさつしました。

山開きを見学した登山者からは「晴天に恵まれ、神楽も見ることができて良かった。きれいな景色を楽しみながら、山登りができることに感謝したい」と話しました。

夏山登山の安全を祈願

草花の観察を楽しむ参加者

▼吾妻山の情報、アクセスはこちら

令和7年7月7日発行
編集・発行　庄原市行政管理課
〒727-8501　広島県庄原市中本町一丁目10番1号／☎0824-73-1159・FAX0824-72-3322／【法人番号】2000020342106
ホームページ https://www.city.shobara.hiroshima.jp／印刷　㈱リークラウド